

令和4年度第2回埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議

次 第

日 時：令和5年2月15日（水）

10:00～11:30

場 所：WEB開催

（事務局：庁議室）

1 開会

2 議事

（1）令和4年度の主な取組及び令和5年度当初予算案におけるケアラー支援関連事業について

（2）次期ケアラー支援計画について

・策定スケジュール（案）について

3 その他

4 閉会

埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議委員名簿

任期：令和4年6月1日～令和6年5月31日

No.	氏名	所属・役職	分野
1	◎ <small>イシヤマ</small> 石山 <small>レイコ</small> 麗子	国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科 教授	学識
2	<small>シバヤ</small> 澁谷 <small>トモコ</small> 智子	成蹊大学文学部現代社会学科 教授	
3	<small>ハヤシ</small> 林 <small>ヒロエ</small> 裕栄	埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 教授	
4	<small>タナカ</small> 田中 <small>ハジメ</small> 一	特定非営利活動法人埼玉県障害者協議会 代表理事	関係団体
5	<small>ハナマタ</small> 花俣 <small>ヨ</small> ふみ代	公益社団法人認知症の人と家族の会 埼玉県支部 代表世話人	
6	<small>ホリコシ</small> 堀越 <small>エイコ</small> 栄子	一般社団法人日本ケアラー連盟 代表理事	
7	<small>カトウ</small> 加藤 <small>ヒデアキ</small> 英明	公募委員	一般公募
8	<small>タキサワ</small> 滝澤 <small>レイコ</small> 玲子	公募委員	
9	<small>ヒロサワ</small> 廣澤 <small>ケンイチ</small> 健一	一般社団法人埼玉県経営者協会 専務理事	事業者
10	<small>ヒラオ</small> 平尾 <small>ミキオ</small> 幹雄	日本労働組合総連合会埼玉県連合会 事務局長	労働者
11	<small>イシハタ</small> 石幡 <small>マヌミ</small> 真澄	志木市地域包括支援センター一館・幸町 センター長	支援機関
12	<small>イシヤマ</small> 石山 <small>ヒデオ</small> 英雄	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 次長	
13	<small>タカオカ</small> 高岡 <small>ユタカ</small> 豊	埼玉県高等学校長協会 会長	教育機関
14	<small>サイトウ</small> 齋藤 <small>タカヒロ</small> 貴弘	さいたま市保健福祉局福祉部福祉総務課 課長	行政機関
15	○ <small>フジオカ</small> 藤岡 <small>マリ</small> 麻里	埼玉県福祉部地域包括ケア局長	行政機関

◎委員長 ○副委員長

(敬称略・順不同)

令和4年度第2回
埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議
資料

令和4年度の主な取組について

令和4年度ケアラー月間について

キャッチコピー **誰かを支えるあなたも支える。**

県内各地でメッセージ動画を放映



ハリイ杉山さん(タレント)

放映場所

- ・市町村庁舎(22市町)
- ・埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫の各店舗
- ・イオン(浦和美園・川口・上尾・ふじみ野・羽生)
- ・ステラタウン(さいたま市北区)
- ・埼玉スタジアムオーロラビジョン(浦和レッズ戦)
- ・熊谷ラグビー場オーロラビジョン(大学ラグビー対抗戦)
- ・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(WEリーグ)
- ・埼玉高速鉄道車内 ほか

トークイベント「ケアラーについて、今知ってほしい」

内容

元ケアラーの3人による経験談
を交えたトークショー

- ・開催日 令和4年11月21日(月)
- ・会場 埼玉県県民健康センター大ホール
- ・登壇者 ハリイ杉山氏(タレント)
宮崎成悟氏(一社)ヤングケアラー協会)
藤木和子氏(全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会副会長)
- ・来場者数 121人
- ・動画配信 625回(R4.12.16~R5.1.31)



令和4年度ケアラー月間について

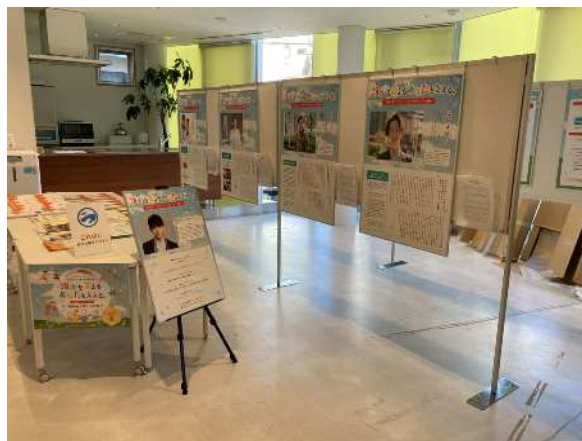
ケアラー月間パネル展の開催

令和4年度ケアラー月間パネル展

ケアラーの方々取材し、その体験談等を記したパネル展を開催しました。

- ・開催日① 令和4年11月3日(木)～令和4年11月9日(水)
- ・会場① 武蔵野銀行本店2階 M'sSQUARE(エムズスクエア)
- ・開催日② 令和4年11月23日(水)～令和4年11月30日(水)
- ・会場② ぱる★てらす 1階 コミュニティスペース
- ・パネル展概要

ハリー杉山さんをはじめとしたケアラーの方の経験談
ケアラー支援が必要な背景
ヤングケアラーハンドブックなど県の啓発物 など



令和4年度ケアラー月間について

金融機関と連携した取組み

埼玉りそな銀行

- ・店舗での啓発ディスプレイ、メッセージ動画放映
- ・お客様向けオンラインセミナーの開催
- ・社員向け研修会
- ・子ども支援団体への場所の貸し出し



武蔵野銀行

- ・店舗での啓発ディスプレイ、メッセージ動画放映
- ・ケアラー月間パネル展やその他のイベントの会場協力
- ・県セミナーへのオンライン参加



埼玉懸信用金庫 さいしん福祉財団

- ・店舗での啓発ディスプレイ、メッセージ動画放映
- ・ケアラー月間キャッチコピー缶バッジを全職員が着用
- ・社員向け研修会



令和4年度ケアラー月間について

その他の企業、団体と連携した取組

ヤングケアラーズミートアップ((一社)ヤングケアラー協会主催)

若者・ヤングケアラーのつどいを開催

- ・開催日 11月3日(木・祝)
- ・武蔵野銀行本店2階 M'sSQUARE(エムズスクエア)

ケアラーズスクール(SOMPOホールディングス(株)/SOMPOケア(株)主催)

家族介護の心構えや必要な情報を得るためのスクールを開催

- ・開催日 令和4年11月6日
- ・武蔵野銀行本店2階 M'sSQUARE(エムズスクエア)

ヤングケアラー理解を深める支援を考えるセミナー

地域福祉の活動者向けのセミナーを開催

- ・開催日 令和4年11月7日(月)
- ・武蔵野銀行本店2階 M'sSQUARE(エムズスクエア)

ケアラー月間パネル展追加開催

- ・生活協同組合パルシステム埼玉が会場協力 令和4年11月23日(祝)～30日(水)

その他、企業、団体の協力

- ・メッセージ動画の放映 県内22市町の公共施設のほか、金融機関の各支店、埼玉高速鉄道その他、ショッピングモール等13か所で放映
- ・ポスター・チラシの配布 県内市町村のほか、県内41団体が配架・掲示に協力

埼玉県ヤングケアラー支援推進協議会について

埼玉県ヤングケアラー支援推進協議会

県、市町村、社協、教育委員会、民間支援団体等を構成員とした協議会を立ち上げ、地域における支援体制の整備等を検討

(第一回) 令和4年6月16日(木)

- (1) ヤングケアラー支援における課題及び今後の協議事項について
- (2) 市町村域におけるヤングケアラー支援にかかる手引き(仮称)の作成について

(第二回) 令和4年8月2日(水)

- (1) ヤングケアラーの理解について
- (2) 市町村行政の取組を踏まえた協議

(第三回) 令和4年10月6日(木)

- (1) 地域における各関係機関、支援団体との連携体制づくり
- (2) ニーズに応じた支援の創設・拡充

(第四回) 令和5年2月17日(金)

- (1) ヤングケアラー支援の手引き(仮称)について



医療的ケア児等支援センターの開設について

医療的ケア児及びその家族に対する支援の拠点として、「埼玉県医療的ケア児等支援センター」を開設（令和5年1月25日）。

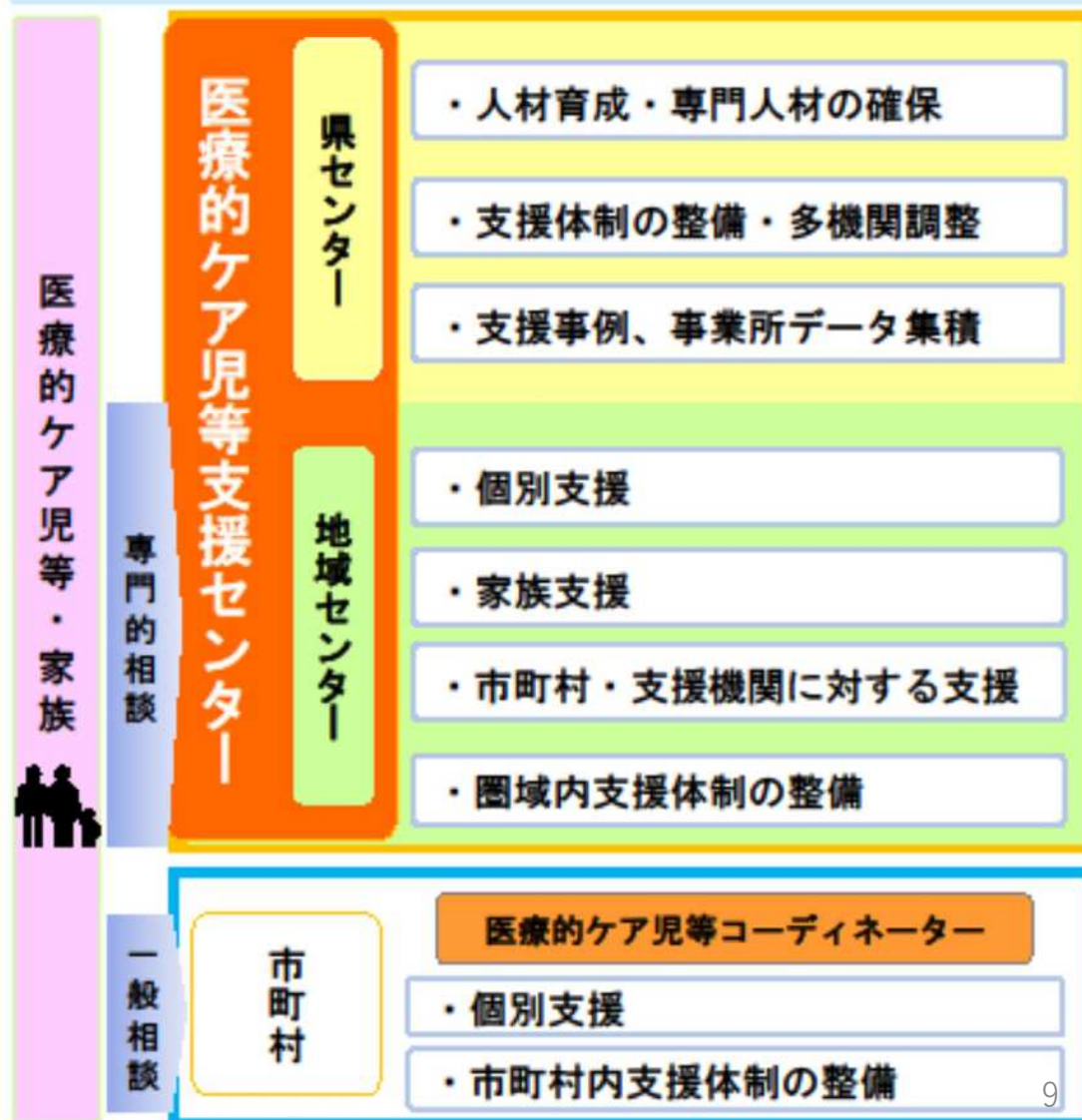
1 県センター

- (1) 所在 発達障害総合支援センター内
(さいたま市中央区新都心)
- (2) 主な役割・機能
 - ・人材育成、専門的人材の確保
 - ・支援体制の整備、多機関調整 等

2 地域センター

- (1) 委託先 社会福祉法人埼玉医大福祉会
カルガモの家（川越市鶴田）
※医療型障害児入所施設
- (2) 主な役割・機能
 - ・個別支援
(どこに相談したらよいか分からない方のための一元的な相談窓口)
 - ・家族支援
 - ・市町村、支援機関に対する支援 等

3 本県における医療的ケア児等の支援体制



令和5年度当初予算案における ケアラー支援関連事業について

担当 地域包括ケア課 地域包括ケア担当
内線 3256

目 的

団塊の世代が75歳以上になる2025年を目途に、高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、医療・介護・介護予防・生活支援などが一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化に向けて市町村を支援する。

また、地域共生社会の実現のため、市町村における高齢、障害、子ども、生活困窮等の複雑化・複合化した課題に対応する包括的な支援体制の構築の支援を行う。

事業概要

1 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化

155,649千円

(1) 地域包括ケア総合支援チーム派遣事業

6,772千円

市町村の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を進めるため、全ての市町村に対し、自立支援、介護予防、生活支援などの取組をオーダーメイド・伴走型で支援する総合支援チームを派遣する。

(2) 地域包括ケアシステム構築促進事業

41,124千円

地域ケア会議、介護予防、生活支援などの事業を担う市町村職員等の育成などを通じて、市町村における地域包括ケアシステムの構築を支援する。

(3) 看取り体制強化事業

10,104千円

介護施設等の管理者及び職員向け研修の実施や介護施設等への講師の派遣により、職員のスキルアップを図り、介護施設等における看取り体制の強化を図る。

(4) 地域包括ケアシステム広域支援事業

19,300千円

県内10か所に設置している地域リハビリテーション・ケアサポートセンターと協力医療機関の連携により、リハビリテーション専門職を育成し、市町村の介護予防事業等に派遣することで、地域包括ケアシステムの構築を支援する。

(5) 要介護度改善等促進事業

988千円

介護事業所における自立支援・重度化防止の取組を促進するため、利用者の要介護度の維持・改善等に積極的に取り組む事業所を評価・公表する。

(6) 地域包括ケアシステム深化・推進事業費

74,553千円

重層的支援体制整備に関する助言や人材育成のための研修及び交付金の交付を通じて、制度の狭間や高齢、障害、子ども、生活困窮等の分野に関連する複雑化した課題等に対応できる包括的な相談支援体制の構築に取り組む市町村を支援する。

(7) 市町村総合相談支援体制構築事業費

2,808千円

総合相談支援体制構築に精通するアドバイザーの派遣、課題や手法を共有するための情報交換会の開催及び総合相談支援体制の中核を担う人材の育成を実施し、市町村の総合相談支援体制の構築を支援する。

担当 地域包括ケア課 認知症・虐待防止担当
内線 3251

目的

認知症に関する普及啓発や本人発信の支援、医療・ケア・介護サービスへの支援、若年性認知症等の人への支援、認知症バリアフリーを中心とした地域における取組などにより、認知症本人とその家族に対する施策を総合的に推進する。

事業概要

1 認知症施策の総合的な推進 83,724千円

- | | |
|--|----------|
| (1) 認知症の人にやさしい地域づくり推進事業費 | 2,763千円 |
| 認知症サポーター及びその講師役であるキャラバン・メイトを養成するとともに、市町村認知症連絡会を開催することにより市町村の認知症施策の推進を支援する。 | |
| (2) 認知症ケア支援事業費 | 24,269千円 |
| 認知症に関する知識等の普及・啓発・研修を実施することにより、認知症高齢者やその家族、認知症を介護する職員等を支援する。 | |
| (3) 認知症ケア技術向上事業 | 1,110千円 |
| 認知症介護技術向上のための研修を実施することにより、認知症の人を介護する家族等を支援する。 | |
| (4) 若年性認知症の人のための施策の推進 | 17,152千円 |
| 若年性認知症支援コーディネーターを配置し、相談対応や居場所づくり、就労支援を行う。また、セミナー等の普及啓発を行うことにより、若年性認知症の人が社会とのつながりを保ち、生きがいを持って暮らせる環境を整備する。 | |
| (5) 共生のための「チームオレンジ」構築支援事業 | 6,639千円 |
| 認知症の人に対する地域の支援を広げるため、市町村の「チームオレンジ」の構築を支援するとともに、認知症の本人による埼玉県版「希望大使」を設置し、本人からの発信を支援する。 | |
| (6) 成年後見制度利用促進事業 | 29,413千円 |
| 市町村における成年後見制度を活用するための体制整備・強化を支援することにより、成年後見制度の利用を促進する。 | |
| (7) 高齢者虐待対策事業費 | 2,378千円 |
| 高齢者虐待防止に関する普及啓発を行うとともに、市町村における高齢者虐待対応、相談窓口、ネットワークづくり等の体制整備を支援する。 | |

医療的ケア児者とケアラーへの支援

【予算額】127,691千円

一部新規

担当 障害者支援課 地域生活・医療的ケア児支援担当
048-857-1001
総務・市町村支援担当
内線 3308

目的

県全体と地域を管轄する医療的ケア児等支援センターの二層体制で、医療的ケア児等とその家族、市町村、市町村の医療的ケア児等コーディネーター、支援機関などに対し地域の実情に応じた支援を実施する。

また、地域で暮らす障害児者やケアラーを支援するため、市町村の基幹相談支援センターや地域生活支援拠点等の整備を促進するとともに、在宅の医療的ケア児等とその家族が、日常生活及び社会生活を安心して営むことができるよう、必要とするサービスにつながるための支援体制を整備する。

事業概要

1 医療的ケア児等支援センターの設置・運営(一部新規) 34,445千円

県センターでは、地域センターの取組や情報を集約するとともに、人材育成、支援体制の整備、多機関調整を行い、県全体の支援体制を構築する。また、地域センターを複数箇所に拡充し、本人や家族への個別支援、市町村や事業所など関係機関への支援等を行い、県センターとの連携を図りながら地域での支援体制を構築する。

新規内容

- ▶ 地域センターの複数設置【新規】
地域の実情に応じた支援体制の強化

2 地域で暮らす障害児者とケアラーへの支援 93,246千円

医療的ケアを必要とする重症心身障害児者を在宅で介護する家族の精神的・身体的負担を軽減するため、ショートステイ及びデイサービスによるレスパイトケアの充実等を図るとともに、市町村の基幹相談支援センターや地域生活支援拠点等の整備を促進し、地域で暮らす障害児者やケアラーを支援する。

ケアラー・ヤングケアラーを支援する施策の推進

【予算額】231,166千円

一部新規

担当	地域包括ケア課	地域包括ケア担当	内線	3 2 6 6
	障害者支援課	地域生活・医療的ケア児支援担当	0 4 8 - 8 5 7 - 1 0 0 1	
	こども安全課	児童虐待対策担当	内線	3 3 3 5

目的

ケアラー・ヤングケアラー支援に関する普及啓発や居場所づくり、市町村等相談支援機関の人材育成支援、ケアラー入院時等の要介護者受入施設の運営などにより、ケアラー・ヤングケアラーを総合的に支援する。

事業概要

1 ケアラーを支援する施策の推進 166,353千円

(1) ケアラー支援計画推進事業 (一部新規) 5,211千円

埼玉県ケアラー支援計画の進捗管理及び次期計画の策定、埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議の運営、実態調査を実施する。

新規内容

- ▶ 次期埼玉県ケアラー支援計画の策定【新規】
計画の策定にあたって、ケアラーや支援機関等を対象とした実態調査の実施や有識者会議での協議を行う。

(2) ケアラー支援普及啓発事業 4,940千円

ケアラー月間のイベント開催、啓発チラシの作成・配布を行う。

(3) 介護者サロン設置・運営支援事業 (新規) 3,127千円

介護者サロンの設置・運営のための研修を実施する。

(4) ケアラー支援人材育成事業 5,619千円

地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、市町村等のケアラー支援関係機関向けの研修等を実施する。

(5) ケアラー入院時等の要介護者受入施設の運営 19,765千円

ケアラーが新型コロナウイルスに感染して入院等した場合に、要介護者（高齢者・障害児者）のケアに当たる受入れ施設の運営を支援する。

(6) 医療的ケア児等支援センターの設置・運営(一部新規) (再掲・P20) 34,445千円

県センターでは、地域センターの取組や情報を集約するとともに、人材育成、支援体制の整備、多機関調整を行い、県全体の支援体制を構築する。また、地域センターを複数箇所に拡充し、本人や家族への個別支援、市町村や事業所など関係機関への支援等を行い、県センターとの連携を図りながら地域での支援体制を構築する。

(7) 地域で暮らす障害児者とケアラーへの支援 (再掲・P20) 93,246千円

医療的ケアを必要とする重症心身障害児者を在宅で介護する家族の精神的・身体的負担を軽減するため、ショートステイ及びデイサービスによるレスパイトケアの充実等を行うとともに、市町村の基幹相談支援センターや地域生活支援拠点等の整備を促進し、地域で暮らす障害児者やケアラーを支援する。

2 ヤングケアラーを支援する施策の推進 64,813千円

(1) ヤングケアラー支援体制整備事業 10,586千円

埼玉県ヤングケアラー支援推進協議会の運営、ヤングケアラー支援コーディネーターの設置、ヤングケアラーハンドブックの作成・配布を行う。

(2) ピアサポート等相談体制整備事業 6,010千円

ヤングケアラー向けのSNSを活用した相談窓口を設置・運営する。

(3) オンラインサロンの設置・運営等支援事業 3,740千円

ヤングケアラー向けのオンラインサロンを設置・運営する。

(4) 教育・福祉合同研修事業 600千円

教育委員会、学校等の職員と市町村福祉担当職員等との合同研修を実施する。

(5) 地域福祉活動者向け研修事業 2,585千円

主任児童委員、民生児童委員、子どもの居場所運営者等向けの研修を実施する。

(6) 子育て世帯訪問支援事業 (再掲・P12) 41,292千円

ヤングケアラーがいる家庭など要支援家庭への家事・育児支援を行う市町村への補助を行う。



教育相談等支援体制の充実

【予算額】1,112,348千円

一部新規

担当（内線） 1 生徒指導課（6745）
2, 3 人権教育課（6786）

目的

いじめ、不登校など様々な課題を抱える児童生徒を支援するため、教育相談体制を整備するとともに、学校におけるヤングケアラーやLGBTQへの支援体制の充実を図る。

事業概要

1 教育相談体制の充実 1,102,537千円

(1) 学校等における教育相談体制の整備 1,080,082千円

スクールカウンセラーの配置を拡充するとともに、スクールソーシャルワーカー、高校相談員、精神科医の配置、スチューデントサポーターの派遣、中学校相談員配置市町村への助成、相談員の研修、オンライン相談の実施により、教育相談体制を整備する。

新規・拡充内容

- スクールカウンセラーの配置【拡充】
小学校、全日制高校への配置を拡充

(2) SNSを活用した教育相談体制の整備 22,455千円

SNSを活用した相談窓口を設置し、生徒の抱える悩みや不安等に早期に対応することで、問題の深刻化を未然防止する。

2 ヤングケアラーへの支援の充実 5,582千円

(1) 市町村を対象としたヤングケアラーサポートクラスの実施 2,832千円

16市町村を対象に、児童生徒に対する講演会及び元ヤングケアラー等と児童生徒の交流相談会を実施する。



ヤングケアラーサポートクラス

(2) 県立高校を対象とした「自走式」ヤングケアラーサポートクラスの実施（新規） 2,750千円

県立高校50校において、ヤングケアラーに関する授業を含む学校独自のプログラムを実施する。

3 LGBTQへの支援の充実 4,229千円

(1) 外部専門機関と連携した学校相談体制の充実（新規） 2,640千円

性的指向・性自認に関する児童生徒からの相談対応や配慮・支援等に関して、専門的な助言等を必要とする県立学校に対し、LGBTQ相談に精通した外部専門機関から人材を派遣するなどして相談体制を充実する。

(2) オンラインサロン・相談会の実施 1,589千円

性的指向・性自認の悩みを家庭や学校に打ち明けることが困難な高校生を対象に、オンライン上で悩みを抱える高校生徒同士の交流会及び個々の生徒の悩みに応じる個別相談会を各3回実施する。

次期ケアラー支援計画について

策定スケジュール（案）について

R5

4月 有識者会議①

7月 有識者会議②

8～9月 調査の実施

10月 有識者会議③

12月 埼玉県社会福祉審議会へ報告

R6

1～2月 県民コメント

2月 有識者会議④

3月 議会報告、知事決裁

現行計画について

基本目標	施策	個別項目
1 ケアラーを支えるための 広報啓発の推進	ケアラーに関する啓発活動	
2 行政における ケアラー支援体制の構築	1 相談支援体制の整備	市町村におけるケアラーへの相談支援体制の構築
	2 多様なケアラーへの支援	認知症の方や高齢の方をケアするケアラーへの支援
		障害者の方をケアするケアラーへの支援
		高次脳機能障害の方をケアするケアラーへの支援
		医療的ケアを必要とする児童をケアするケアラーへの支援
		小児慢性特定疾病児童をケアするケアラーへの支援
	難病患者をケアするケアラーへの支援	
	3 子育てしながら介護を担うダブルケアへの支援	
	4 ケアラーの生活支援	
3 地域における ケアラー支援体制の構築	1 ケアラーが孤立しない地域づくり	
	2 地域の見守り体制・地域 住民同士の助け合いの 拡充	民生委員・児童委員の活動支援 地域の支え合いの取組、NPO・ボランティア団体・ 自治会の地域活動への支援
	3 仕事と介護の両立支援の推進	
4 ケアラーを支える人材の育成	1 ケアラー支援への対応能力向上・連携強化	
	2 ケアラー支援を担う県民の育成	
5 ヤングケアラー支援体制の 構築・強化	1 教育機関等によるヤングケアラー支援体制の構築	
	2 地域におけるヤングケアラー支援体制の構築	

現行計画について

(1) ケアラーを支えるための広報啓発の推進

指標名	計画策定時の値	目標値	現状値
ケアラーに関する認知度	17.8% (R2)	70% (R5)	65.8% (R3)
ヤングケアラーに関する認知度	16.3% (R2)	70% (R5)	67.4% (R3)

(2) 行政におけるケアラー支援体制の構築

指標名	計画策定時の値	目標値	現状値
総合相談窓口や調整チーム設置市町村数	26市町村 (R2.4.1)	全市町村 (R6.4.1)	47市町村 (R4.4.1)

(3) 地域におけるケアラー支援体制の構築

指標名	計画策定時の値	目標値	現状値
介護者サロンを設置する市町村数	53市町村 (R2.10.1)	全市町村 (R6.4.1)	55市町村 (R4.6.1)

(4) ケアラーを支える人材の育成

指標名	計画策定時の値	目標値	現状値
ケアラー支援を担う人材育成	—	3,000人 (R3~R5累計)	1,231人 (R3)

(5) ヤングケアラー支援体制の構築・強化

指標名	計画策定時の値	目標値	現状値
教育・福祉合同研修受講者数	—	1,000人 (R3~R5累計)	249人 (R3)